



法律の専門職を目指す！

法曹と国家公務員総合職を
両にらみ！

TAC/Wセミナー講師 弁護士 辻本 浩三 講師

1. 講師の自己紹介

▶ 弁護士 辻本 浩三

元大学受験予備校現代文・小論文講師

非法学部

40代から法律の勉強を始め、一橋大学法科大学院に既習で入学

司法試験講座、国家総合職試験法律科目の講師を担当

実務家としては、難民問題等に取り組む

2. 法律の勉強を生かす道

▶ 資格

弁護士，司法書士，行政書士，税理士等

⇒最高の資格が弁護士

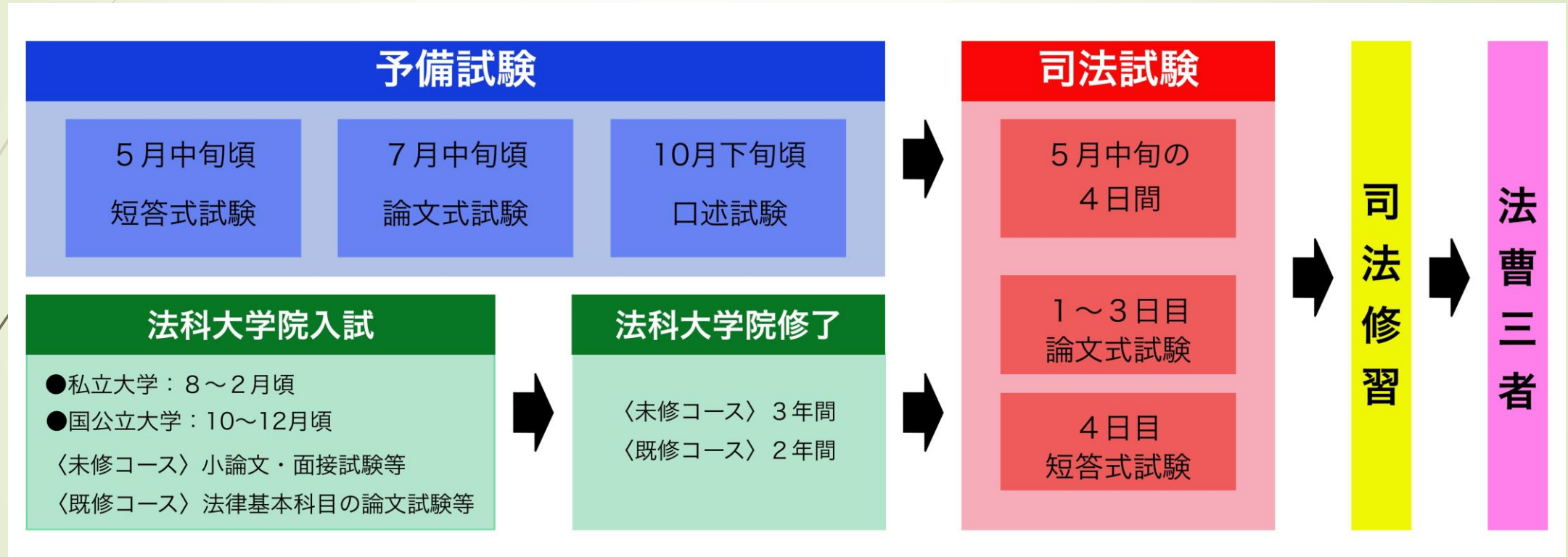
（これになるには，司法試験に合格する必要）

裁判官，検察官になるにも，司法試験に合格する必要

▶ 予備試験ルート

▶ 法科大学院ルート

2. 法律の勉強を生かす道



3. 公務員試験

- ▶ 国家総合職

⇒ キャリア官僚といわれるのはこれ

- ▶ 国家一般職

- ▶ 地方上級職

- ▶ 裁判所事務官等

国家総合職試験

- ➡ 法律区分

⇒ ここは法律科目が決め手

- ➡ 政治・国際区分

- ➡ 経済区分

国家総合職試験

■法律区分 専門択一試験

49題中40題解答（210分）

必須問題：憲法7題、行政法12題、民法12題の計31題

選択問題：商法3題、刑法3題、労働法3題、

国際法3題、経済学・財政学6題の18題から任意の9題
解答

国家総合職試験

▶ 法律区分 専門記述試験

5科目中3科目解答（240分）

憲法1題、行政法1題、民法1題、国際法1題、公共政策2題

※公共政策からは1題のみ選択可

4 難関試験に合格するには

- (1) 法律の学習の3要素
- 条文
⇒ここから始まる
- 判例
⇒最高裁判所の判断
- 学説
⇒試験に必要な範囲で

4 難関試験に合格するには

➡ (2) 勉強法を誤ると合格できない

➡ 条文暗記が勉強ではない

重要なのは、抽象的概念の具体化、理由付け

⇒理解できるだけではだめ、覚え方、整理の仕方が大事

⇒知識定着のためには、問題演習を組みこむ

4 難関試験に合格するには

- ➡ (3) 入門段階でやるべきこと
憲法, 民法, 刑法, 行政法を固める
難関試験を見すえた勉強を

簡単な試験（行政書士等）から始める
⇒難関試験との差が大き過ぎる

基礎的な事項を広く薄く
⇒ほとんどの入門講座がこれだが、かえって法律の勉強を誤解
する可能性も

4 難関試験に合格するには

- ➡ (3) 入門段階でやるべきこと
難関試験で要求される知識をきちんと入れていく
勉強法を確立する

実際の問題も解いてみる

⇒この勉強の延長戦上に合格があることを確信できる
こと

そのために、できるだけ早いスタートを

5 法曹と国家公務員両にらみなら Wセミナー

➡ 法曹×国家公務員入門講座

どちらの進路に進んでも役に立つ

「憲法」「民法」「刑法」「行政法」「数的処理（判断推理）」を25,000円で学べる！

学習モデルプラン

大学1年生

全26回の充実したカリキュラムが、
25,000円! (ビデオブース/Web通信講座)
(教材費・10%税込)

▶ 法曹×国家公務員入門講座

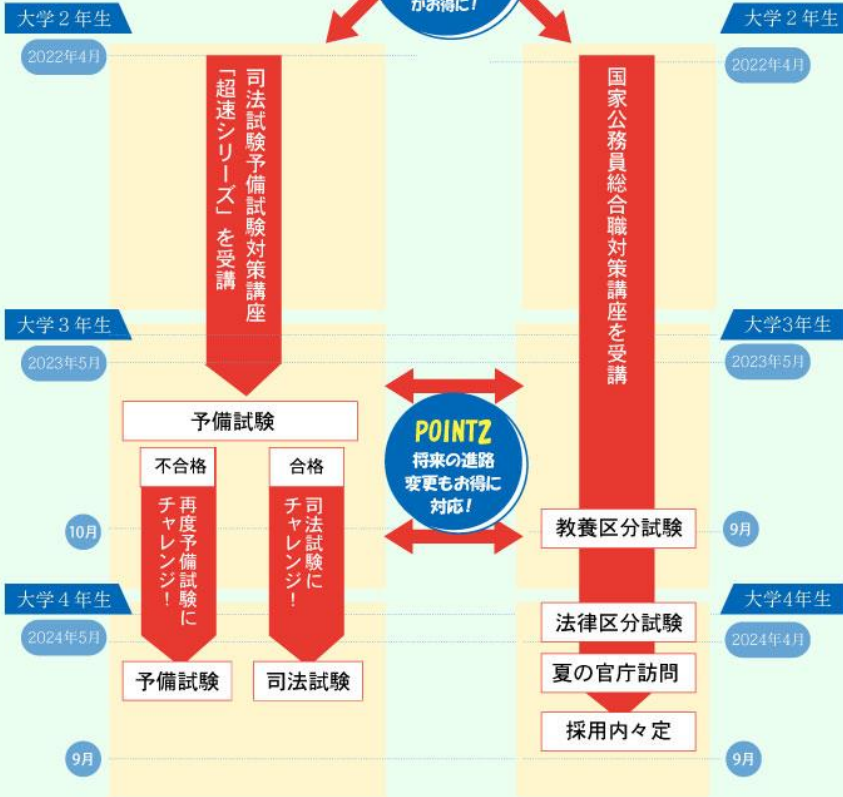
憲法	民法	刑法	行政法	数的処理 (判断推理)
全4回	全8回	全5回	全4回	全5回

使用教材 憲法・民法・刑法・行政法……講師作成オリジナルレジュメ
数的処理……オリジナルテキスト(講義ノート)

※講義時間は1回約3時間です。

法曹(司法試験)ルート

国家公務員(総合職)ルート



➡ 2年目以降は司法試験/国家公務員(総合職)どちらに進んでもOK!

➡ 詳細はTAC/Wセミナーホームページで!